

- ・2012年11月6日 『郷土の昔物語り』 16話を公開しました。
公開に当り関係機関・関係各位の皆様方のご協力に感謝を申し上げます。
- ・2012年11月24日 原作者のプロフィールを掲載しました。
- ・2012年12月28日 トップページレイアウトを変更しました。
- ・2014年04月01日 『六助の義』を発行致しました。
- ・2014年09月現在 『六助の義』九州・中国・四国・北陸9県の県立・市町立の18図書館に納品し所蔵いただいております。
- ・2014年11月15日 【正誤表】『六助の義』の一部に誤りがありお詫びして訂正いたします。
(10月14日、11月5日の訂正は版別の正誤表に致しました)
- ・2014年11月 松竹大歌舞伎「彦山権現誓助剱」的一幕「毛谷村」を全国10市町で片岡愛之助さんが毛谷村六助役で地方公演された。
- ・2014年11月 『六助の義』の六助の恩師吉岡一味斎が普請奉行として赴いた岩国錦帯橋、その架橋構想として見分した萩の平安橋を訪れた。
- ・2015年1月現在 『六助の義』を個人でご購読の皆さまに加え、九州・中国・四国・関西・中部・北陸。関東の公的図書館13県下、県立8館、市町立14館に所蔵いただいています。ありがとうございます。
- ・2015年2月23日 東京・歌舞伎座での2月公演で尾上菊五郎さんが毛谷村六助を演じる「彦山権現誓助剱」的一幕「毛谷村」を観劇しました。
- ・2015年12月21日 『六助の義』第二版が完売しましたので「ご予約・ご注文」、及び「おすすめ 歌舞伎を観劇前に」のアイコンを削除しました。
- ・2016年4月15日 4月14日、15日に発生した熊本地震による熊本・大分両県の被災者の皆さんにお見舞い申し上げます。
- ・2016年8月12日 新作に向けて城井宇都宮朝房の嫡子朝末の誕生の地福岡県東峰町宝珠山を訪れた。
18日 城井宇都宮家の本拠城井谷の福岡県築上町を訪れた。築上町の教育委員会（船迫公園事務所）を表敬訪問した。
- ・2016年11月 『六助の義』第三版（仮）に『吾妻鏡』を出典として鎌倉時代の相撲の事績を追記した。
- ・2017年4月27日 【正誤表】『六助の義』の一部に誤りがありお詫びして訂正いたします。
6月12日 (訂正は版別の正誤表*に致しました)
- ・2017年6月26日 『六助の義』第三版を発行しました。
- ・2017年9月9日 旧東海道日本橋から箱根宿二十五里半を完歩達成！
1月5日開始し102kmを歩破達成した。
往時を偲び、9.8km毎の宿配置、一里塚設置などシステム管理に感動。
鎌倉時代の古道との重なりもあり古くから道路網構築の時代の要請は変わらない。
- ・2017年11月15日 中津市山国支所で地域おこし協力隊の招聘で『六助の義』発行の背景と、それに関わる持論である『山国 六助観光立国』について説明し、懇談会を行った。

- ・2017年11月18日 新作の執筆準備の一環として、宇都宮鎮房一行の城井谷から中津城登城で最後の行路となった求菩提谷を訪れた。英彦山から寒田・求菩提山登山口・求菩提資料館・如法寺を拝観した。
- ・2018年11月 新作の執筆作業の一環で山国郷を訪れた。
- ・2019年10月 平安時代の相撲―『愛媛県の歴史』山川出版社 より―
宮中の年中行事で七月下旬に全国から相撲人を集めて行われた。
伊予国出身の横綱越智常世の名は永延元年（987）に助手（すけて、大関）として史料にある。
当時の相撲の地位で最上位は最手（ほて、横綱）・助手で、越智常世は20年間最手の地位にあった。